

2022 年度 第2回臨時日本学連総会議事録

【日程】 2022 年 10 月 4 日(火) 20:00~21:00

【場所】 Zoom を用いたオンライン開催

【議事録作成者】 鈴木璃土(筑波大学,責任者)

【目次】

1.2022 年度インカレミドル男子選手権クラスに適用される枠配分について	2
2. 2023 年度インカレの枠配分に用いられる基準について.....	2
3. 地図著作権指定管理業務について	3

1.2022 年度インカレミドル男子選手権クラスに適用される枠配分について

2022 年度 ICM 男子選手権クラスの枠配分について浴本から説明。

詳細は資料参照のこと。

八房(千葉大学)：幹事会推薦案の場合、配分の際、分子の数の総数が 30 を超える可能性があるが、それについては考えているのか。

浴本：正直申し上げると話し合っていない。が、個人実績枠などで男子 60 人女子 40 人という選手権クラス出場者数の上限が前後するため、あまり問題にならないと認識している。

浦中(東京理科大学)：その他の案が大学から提案された場合はどのように対応するのか。

浴本：幹事会でまず議論の上、google フォームでの投票前に公表したい。ただ、場合によっては google フォームでの投票時に初めて公表することになる可能性がある。また、それに伴って意見募集の期間を延ばすことはしない予定。

日本学連幹事会案が、賛成 22/29 校で承認。

2. 2023 年度インカレの枠配分に用いられる基準について

2023 年度インカレの枠配分に用いられる基準について浴本から説明。

詳細は資料参照のこと。

川崎(茨城大学)：スライド 19p の計算方法について、枠獲得の権利があるのは 30 位以内という認識で間違いはないか。

浴本：30 人から、繰り上がりの人数を引いた数で計算する。

川崎：枠獲得の権利がない選手が入賞した場合、個人実績枠は得られるのか。

浴本：その選手として個人実績枠は獲得できるが、地区学連の枠の計算に含まれない。

3. 地図著作権指定管理業務について

学連著作権地図を団体が全面改訂する場合の規定について浴本より説明。

浴本：日本学連が保有する地図を学連加盟校が修正し大会を開いた場合、その大会での著作権代の支払いを免除するという規定が存在する。この規定について、今回総会の場で周知させていただく。

これは、新規トレインを開拓することが年々難しくなる中で、各大学が地図作成の能力を付けるために日本学連トレインを修正する形で大会を開催することで、新規地図作成よりも負担が少なく、日本学連としても地図が修正されて嬉しいというものである。

詳細は資料参照のこと。

以上